

0 歳 児

期	57日から4か月未満	4か月から6か月未満	6か月から9か月未満	9か月から1歳未満
育てたい子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 授乳・睡眠・目覚めているときのリズムが、徐々に安定する。 おなかですいたら泣いて訴える。 オムツが濡れたら、不快を訴える。 首が安定し、手足を活発に動かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠と授乳、遊びのリズムが徐々に安定してくる。 興味を持って、戻ったり触れたりする。 寝返りを始めるなど、全身を動かして遊ぶ。 表情の変化や喃語などで、自分の欲求を表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 手と口を使って触れる・噛む・なめるなどして感触を楽しむ。 寝返りしながら移動したり、腹ばいや座位など全身で動いたり、物に手を伸ばしてつかももうと手指を動かしたりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人や物に興味を示し、触れる・引く張るなどして自分からかかわる。 食べたい気持ちや欲求を表現する。 自分なりの欲求を動作・表情・声などで表わす。
生命の保持と情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 保健的で安全な環境の中で、一人一人の生理的要求や依存的欲求を満たす。 発達に応じた生活リズムを整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの生活リズムを把握し、生理的欲求を十分に満たしていく。 保育者が応答的にかかわることで保育者に愛着を持ち、安心して過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムのある生活の中で、健康で安全な生活が送れるようにする。 特定の保育者が一人一人の甘えや依存的欲求を満たし、信頼関係を築いていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分でやりたいという気持ちを受け止め、援助しながら満足感が得られるようにする。 安心できる大人とのかかわりの中で、自分の思いを表し受け止めてもらええる安心感が持てるようにする。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定したリズムで機嫌よく過ごす。 保育者に思いを受け止めてもらいながら、安心して生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲む・眠る・遊ぶなど安定したリズムで機嫌よく過ごす。 寝返りや腹ばい姿勢など、自分で体を動かすことを楽しむ。 あやされたり声をかけられたりすると喜び、自分でも声を出す。 保育者に親しみをもち、安定して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 寝返り・腹ばい・座位などを動かして遊ぶ。 様々な食品の味・形態の離乳食に慣れる。 特定の保育者と十分かかわり欲求を受け止めてもらい、安定して過ごす。 保育者の語りかけを喜び、自分でも声を出すことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 四つ這いをすする・四つ這いから座位になるなど、体全体を動かして遊ぶことを楽しむ。 様々な食物に興味を持ち、進んで食べようとする。 保育者と十分にかかわり、欲求を受け止めてもらい安定して過ごす。 身近な人や物に興味や関心を持ち、探索活動を楽しむ。
健康な体をつくる力	<ul style="list-style-type: none"> 授乳・睡眠など安定したリズムの中で過ごす。 保育者との温かいかかわりの中で、オムツ交換をしてもらい気持ちよく過ごす。 手足を活発に動かして遊ぶ。 外気に触れる心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 外気浴やベビーマッサージで心地よさを感じる。 のびのびと手足を動かしたり、寝返りや腹ばいや座位を変えてもらったりして遊ぶことを喜ぶ。 気持ちよく眠ったり目覚めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食・睡眠・排泄などの生理的欲求を満たし、清潔で気持ちのよい生活を送る。 寝返り・腹ばい・座位など発達に合った活動を十分に行う。 保育者と安定した関係の中で、離乳食を食べる楽しさを体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 座った姿勢で、手に物を持って遊ぶ。 四つ這いの姿勢で自由に移動しながら、触れる・なめる・見ると遊ぶ・下りる・押す・引く張るなどして遊ぶ。 一定時間、安心して眠る。 様々な食べ物に興味を持ち、食品の味に慣れる。
	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との信頼関係のもとで、抱かれる・あやされる・語りかけられるなど安心して過ごす。 心地よいときには笑ったり微笑んだり、不快なときは泣いて気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との信頼関係のもとで、抱かれる・あやされる・語りかけられるなど安心して過ごす。 心地よいときには笑ったり微笑んだり、不快なときは泣いて気持ちを表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者にあやしてもらったことや喜び、親しみをもち抱っこを求めたり甘えたりしながら、安心した気持ちで過ごす。 保育者を媒介に人に興味を持ち、かかわることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と、簡単な物のやりとりをする。 名前を呼ばれると自分のことだと分かち、意思表示をする。 身近な保育者にかかわることを喜ぶ、親しみをもち、見返す。
環境自然や身近な環境にかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> 動く人や物を追視したり、音のする方向を見ようとしていたりする。 自分の手や手に触れたものを確かめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の手をなめたり手足で遊んだり、手に触れた物に興味を示し、触る・つかむ・引く張る・持つ・放すなどを繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な玩具や身の回りにあるものに興味を持ち、見たり触れたりする。 様々な素材に触れて遊ぶ。 戸外に出て遊ぶことを楽しみ、外界への関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物を打ち合わせたり、積んだりして遊ぶ。 つまむ・叩く・引く張る・転がすなど手指を使って遊ぶ。 保育者と一緒に、しぐさや喃語で朝の挨拶や食事の挨拶をする。
言葉の思いを伝える力	<ul style="list-style-type: none"> 心地よいときは笑ったり不快なときは泣いたりして、欲求を表そうとする。 機嫌のよいときは、一人で声を出して話をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 声を出すことを喜び、一人で声を出して遊ぶ。 自分の欲求や感情を泣く・笑うなど顔の表情や喃語などで知らせる。 機嫌のよいときは、盛んに喃語を発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> 優しい語りかけの中で言葉をかけられる心地よさを味わう。 簡単な絵本を繰り返し見ることを楽しむ。 喃語を優しく受けてもらい、保育者とやりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の言葉を真似ようとする。 自分の欲求を動作で表そうとする。 保育者と一緒に興味のある絵本などを見て、簡単な言葉を繰り返す。
表現豊かに表現する力	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の歌やわらべうたなどを心地よさそうに聞こえようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の歌やわらべうた・簡単な手遊びを心地よさそうに聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 手足や体を使って感情表現し、受け止めてもらいながら表現する喜びを感じる。 わらべうた遊びや手遊びなど、保育者の歌を楽しんで聞いたりあやし遊びをしたりする。 音の出る玩具を振ったり叩いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で様々な音・色・手触り・動きなどに興味を持ち、見たり触れたりする。 保育者の歌や手遊びを喜んで真似る。 保育者と一緒に楽器や音の出る玩具に触れて遊ぶ。
☆環境構成 ○保育者の援助	<ul style="list-style-type: none"> 室内や玩具は、常に清潔に保つ。 室温・湿度・換気・採光などを整え、気持ちよく眠ることができるようになる。 睡眠の様子を時間を決めてチェックし、SIDS(乳幼児突然死)に注意を払う。 子どもたちの情緒の安定を図るために、担当制で保育する。 ゆったりとしたかかわりの中で、視線を合わせて優しく語りかけたり安心して眠ったり、授乳したりできるようにする。 泣いて訴えたときには、思いを言葉に変えながら要求を満たしていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 腹ばいや寝返りなどの全身運動が安全に出来るように、場の配慮をする。 触れたりするおもちゃも安全なように、玩具を清潔に保つ。 毎日、同じ保育者が同じ場所での授乳や遊びを繰り返す。自分の場を認識し、安定感を高め、時間の流れやものごとの順序性への認識の基盤を整えるようにする。 静かな保育室を確保し、よく飲み・よく眠り・よく遊べる環境を構成する。 目覚めたときにあやし、柔らかな明るい光を浴びせるようにして、生活リズムがつくようにする。 ゆったりと心地よく過ごせるように、子どもの小さな要求も見逃がさず受け止め、快は一緒に喜び、不快は取り除くようにする。 オムツ交換や着替えなど「きれいになったね」「気持ちいいね」と声をかけながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の生活リズムが異なるので、排泄や睡眠の場所など体適な環境を作っておく。 様々な玩具に触れて感触が楽しめるように、大きさ・重さ・温度や体調に応じて戸外に出る時間を設け、日陰を作ったりござなどを用意したりする。 寝返りや腹ばいが楽しめるように、空間を広くしたりあやしたり音の出る玩具を子どもの前に置いたりなどして、保育者も一緒に遊ぶ。 温かいかわりの中でゆったりと離乳食を勧める。 保育者と同じ動作をすることや子どもの動作を保育者が真似てすることで、満足感や安心感が得られるようにかかわる。 誤飲しないよう口にいれなくても安全な大きさの玩具で遊び、使用後消毒などをして衛生面に留意する。 言葉の獲得に向けて、子どもの表現や状況に応じて言葉に置き換えながらかわっていくようにする。 手指を使って、様々な感触を味わう心地よさを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> つかまり立ちをするので、不安定な物や角のある物は周囲に置かないようにする。 この遊びを楽しむように、緩やかな傾斜や段差を取り入れる。 つまんで遊べる玩具は、大きさ・使い方の配慮や清潔を保つようにする。 手と指を使った遊びが十分にできるように、テープや椅子を使用する。 行動範囲が広がるので、危険のないように環境を整える。 子どもが表現したことを受け止め、優しくゆったり・はっきりと応えたり語りかけたりする。 伝い歩きも始まるが保育者の見守りの中、このことを十分に経験できるようにする。 人間関係を形成していく時期なので、玩具の受け渡しなどは丁寧に扱う。
行事	<p>入所(園)式 進級式 子どもの日の集い</p> <p>【年間】内科健診 誕生会 発育測定 避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の発育状況や健康状態を聞き取り、気になることや不安なことを受け止め、信頼関係を築く。 日々の子どもの小さな変化についても保護者と共有し、共感したり問題解決に向けて話し合ったりする。 	<p>七夕の集い プール開き 夏祭り</p> <p>保育参観 保育参加 園外保育(地域散策など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児に対する不安や戸惑いを受け止め、聞くことでコミュニケーションを図る。 子どもの様子を知らせ、保護者との温かい関係を作り、子育ての感動、育児の楽しさを知らせる。 起きているときは、応答的にかかわりしたり授乳や食事したりする中で、安定した生活リズムを作っていくことの大切さを知らせる。 	<p>祖父母交流 運動会 遠足 秋祭り</p> <p>地域との交流(小・中・高生 高年クラブなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症にかかっていることが多いので保護者と連携を取りながら健康状態の把握をしっかりと行い、相互に子どもの体調の変化に離乳食を開始する期間に、保護者が不安を持たないように対応し、個々の発育に応じて飲み込み方・舌触り・味を確認しながら勤めていく。また、食物アレルギーの有無を丁寧に確認する。 	<p>お楽しみ会(クリスマス会) 新年の集い 節分の集い 生活発表会 ひな祭り会 お別れ遠足</p> <ul style="list-style-type: none"> 何にでも興味を示し触ろうとするので、火傷や誤飲を防ぐため、手の届く範囲に危険な物がないか、家庭の中を確認してもらう。 つかまり立ちをし始める子どももいるが、四つ這いを十分にすることが大切であることを知らせる。